

令和2年度第2回出雲市スポーツ振興審議会 議事録

1. 開催日時 令和2年12月11日(金) 13:30~15:00

2. 開催場所 出雲市役所3階 庁議室

3. 出席者

(委員)

会長	成相 善美	(出雲市体育協会会長)
副会長	安喰 公美	(レクリエーションスポーツ代表)
委員	青木 敏章	(出雲市体育協会副会長)
	大森 正義	(出雲市スポーツ少年団本部長)
	金築 康治	(出雲市小学校体育連盟会長)
	久家 彰	(出雲市生涯学習委員)
	佐々木由紀子	(出雲市スポーツ推進委員)
	野津 修一	(出雲市身障者福祉協会副会長)
	萬代 輝正	(出雲市議会スポーツ推進協議会議員)
	真玉 保浩	(島根県高等学校体育連盟 副会長)
	三島 武司	(出雲市教育委員会教育部長)
	矢田 栄子	(出雲スポーツ振興21事務局長)
	山根 千恵美	(出雲市スポーツ推進委員)

(13名)

※欠席者2名(藤江 勲委員、水内賢司委員)

(事務局)

藤原 英博	(市民文化部長)
三代 均	(市民文化部次長兼文化スポーツ課長)
矢田 和則	(文化スポーツ課スポーツ特別事業室長)
今岡 正樹	(文化スポーツ課課長補佐)
藤井 武	(文化スポーツ課スポーツ特別事業室長補佐)
吾郷 征則	(文化スポーツ課スポーツ振興係主任)
小村 修平	(文化スポーツ課スポーツ振興係主事)

(7名)

4. 会議内容

(1) 成相会長あいさつ

みなさんこんにちは。本日は、大変お忙しい中お集まりいただき本当にありがとうございます。

ついに出雲市でも新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しまして、大変な状況になりつつありますが、市民をスポーツの力で元気付けられるように本日のスポーツ振興審議会では、前向きな話ができればと思います。

また、10年後に島根県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会は、出雲市がメイン会場となります。そういった明るい話題もありますので、コロナ対策をしっかりと考えながら前向きなご意見をいただければと思っております。

すので、どうぞよろしくお願いたします。

(2) 議事

議事① 出雲市スポーツ推進計画の次期計画の策定について

(成相会長)

議事①について事務局から説明をお願いします。

(事務局：今岡補佐)

国・県等の計画策定状況（資料1）及び次期計画策定に向けてのスケジュール案（資料2）について説明

(事務局：吾郷主任)

アンケート調査先（資料3）及びアンケート調査表（別冊）について説明

(成相会長)

ただいま説明のありました議事①について、委員の皆様からご意見、ご質問はありませんか。

(三島委員)

アンケートの質問で、スポーツの種目名がいくつかでてきますが、前回アンケート実施からの10年間で新たに出てきたスポーツもたくさんあると思います。それらの種目がこのアンケートには反映されていませんが、「その他」欄にかけば良いという考え方でしょうか。

(事務局：吾郷主任)

もちろん前回のアンケートから引き継いだものもありますし、例えば、「ウォーキング」や「ダンス」など、以前のアンケートではなかった種目も思いつく限りで質問に取り入れております。そのうえでさらに違った種目があれば、「その他」欄に記入していただくという形をとっております。

(三島委員)

新たな種目を盛り込んでいるということであれば良いと思います。

それともう一点、小・中学生用アンケートの問4に「1日にテレビをどれくらい見ますか」というという質問がありますが、今はテレビよりもどちらかというスマホとかそういった事項の方が適切ではないでしょうか。また、「テレビゲーム」というのも今の小・中学生に通じるのか疑問に思います。この問4は何を測りたいかで項目が変わってくると思います。メディアに触れる時間を測りたいのであれば、そういう表現をされた方がいいのかなと思います。

それと最後に、一般市民3,000人無作為抽出という方法は基本的に良いと思いますが、今の出雲市の年齢構成は若い人よりも年配の方の方が多くなります。無作為抽出するとどうしても年代の割合で出ますので、比較的年配の方の意見が色濃く反映されやすくなりますが、その点については検討していらっしゃいますか。

(事務局：今岡補佐)

基本的には、年齢構成に沿った案分で実施していこうと考えております。

(事務局：三代次長)

無作為抽出とは言いましても、実はある程度のルールあります。

三島委員からありましたように、普通に考えると年齢構成に沿った形になりますし、客体を生年月日順で並べると地域も反映されません。

現在、芸術文化振興指針も策定する時期にきておりまして、同様のアンケートを実施しますが、無作為とは言いつつもある程度地区や年代が偏らないような取り方を検討していますので、なるべく広くデータがとれるような形をとりたいと思っております。

(三島委員)

それなら良いと思います。

(矢田委員)

アンケートの実施は、前回は6月～7月で今回は1月～2月となっていますが、1月～2月は寒い時期なので、体を動かす量が減っていると思います。コロナの影響を受ける前の状況を答えるよう記載がありますが、どうしても「1日あたりどれくらい運動しますか」などの質問への回答に影響が出てくると思います。

前回は6月～7月の実施だったから今回は違う時期がいいという理由でアンケートを取られるのかは分かりませんが、1月～2月と比べると6月～7月の方が絶対に運動量が多いと思うので、少し気にかかりました。

(事務局：三代次長)

6月～7月は良い時期だと思っておりましたが、平成23年度計画策定の際、アンケート実施後のスケジュールが切迫しました。今回、雑になってはいけないと思ひまして、ご指摘のことも承知をしながら、アンケートの時期を1月～2月に設定しました。回答も細かく精査し、委員の皆さま方にご提示をしながら次期計画の策定に結び付けていきたいと思ひしておりますので、ご理解いただきたいと思ひしております。

(萬代委員)

先ほど三島委員の話にありましたが、「テレビ」と「テレビゲーム」はメディアという面では同じかもしれないですけど、全然違った括りかなと思います。

また、質問の主旨にもよりますが、小・中学生用アンケートでは、平日と土曜日・日曜日で分けたデータがあっても良いと思います。

あとは、eスポーツがスポーツなのかどうかといった議論はあると思いますが、昨今のことですので、eスポーツにどれだけ時間を割いているのか、興味を持っているのかというような内容が質問の中で入れられても良いと思ひました。

また、全体を通して、スポーツを「する」関係の質問はありますが、「する」人ばかりではなく、「みる」・「ささえる」人を対象とした質問もあると良いと思ひました。

(事務局：今岡補佐)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(成相会長)

小・中学生用のアンケートは、何年生を対象としているのでしょうか。

(事務局：吾郷主任)

小学生は6年生の各学校1クラス、中学生は2年生の各学校1クラスを対象としております。

(成相会長)

国民スポーツ大会についての質問がありますが、小・中学生は国民スポーツ大会について知っているのでしょうか。

子どもたちが、10年後に島根・出雲に全国から選手が集まり国民スポーツ大会が開催されるということを描き、子どもたちの中に一つの目標や夢ができ、「自分も選手として参加したい」というような思いに繋がるようなアンケートになるといいと思います。

今のアンケートに国民スポーツ大会について描けるようなものがあるのでしょうか。

(事務局：吾郷主任)

小・中学生用アンケートの問12に国民スポーツ大会について知っているかどうかを聞く質問がありますが、そもそも国民スポーツ大会とは何かという内容を入れた方がよいということでしょうか。

(成相会長)

わかりやすいように国民スポーツ大会についての概要を入れた方がよいと思います。

(事務局：今岡補佐)

国民スポーツ大会についての紹介を入れたうえでの質問の実施を考えたいと思います。

(青木委員)

前回のアンケート内容を踏襲すると言っているが変っている箇所が、特に小・中学生用アンケートには非常に多いような気がします。

萬代委員がおっしゃったように、例えば、スポーツの実施時間というものは、平日と土日で違うというお子さんがいらっしゃると思います。しかし、これを平日と土日で分けたら、前回のデータとの比較が難しいといったことも出てくるかと思えます。

このアンケートに近いような小・中学生を対象としたアンケートは色々な機関で実施されたものがあるので、それを調べて参考にされたら良いと思います。

(矢田委員)

前回アンケート実施の10年前にはなかった民間のスポーツジムがたくさん営業を開始されています。民間企業もスポーツの場の提供をしてくれているので、一般市民アンケートにスポーツをしている場所についての質問もあるといいと思います。競技種目ではなくても運動はしている方もたくさんいらっしゃると思うの

で、そういうことが分かると、市民の皆様全体の状況が見えてくるかもしれないと思います。ご検討いただければと思います。

（成相会長）

このアンケートが市民全体のスポーツに対する関心につながればいいと思います。

（金築委員）

アンケートに障がい者スポーツについての質問がほとんどない点が気になりました。

（事務局：吾郷主任）

スポ少、中学部活動、体協、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブに向けたアンケートで、障がい者スポーツ推進への取り組みについて、どういった取り組みを行っておられるのかを聞く質問を入れております。

（大森委員）

スポーツ少年団についてのアンケートが「代表者」という形で書いてありますが、スポーツ少年団は、地域の皆さまや保護者の皆さまの力がなければ活動ができないという側面があります。代表者はあくまでも指導者の立場の人になりますので、できれば「代表者・保護者」という項目にしてもらって、その中で保護者向けの質問をしていただけたら、より一層良い回答が出てくると思います。

（事務局：今岡補佐）

「代表者か保護者」という形でしょうか。

（大森委員）

保護者や地域の皆さまの意見と指導者の意見は違ってくると思いますので、そういった意見が入ってくれば、色々と参考になると思います。

（矢田委員）

スポーツ少年団は、代表者と指導者が同じ人物である場合が非常に多く、指導者の意見ばかりがアンケートの結果に反映される可能性があります。質問の意図にもよりますが、「代表者」を「保護者」にするとどちら側の意見も集まりやすくなるかもしれません。

（久家委員）

今のスポーツ少年団は、日常の活動には関与していない人が「代表者」となっている場合が多いので、「保護者」と「代表者」ではっきり分けた方がいいと思います。

（野津委員）

障がい者スポーツに関する質問は、今の質問であれば、「(障がい者スポーツ推進に向けた取り組みを) 行っていない」と回答されて終わってしまいます。また、「行っている」と回答されたとしても、色々な障がい者の方がいらっしやって、種目に

よっても違いますし、その人の症状によっても違います。どのように質問をすれば良いのかわかりませんが、障がい者スポーツ推進に向けた取り組みを行う上で、相談できる場所についての知識を持ってもらえるかという内容を聞いていただきたいと思います。

（真玉委員）

高齢化によりコミュニティセンターが主催するスポーツイベント等への参加者の減少やコミセンの体育委員が地域の運動会への参加者募集に苦勞している現状があります。

5年間のスポーツ推進計画の中である程度仮説を立ててアンケートを実施しなければならないと思います。

例えば高校生を対象にスポーツのアンケートを実施した場合は、「部活を今後も一生懸命頑張りたい」という意見が多く出てきますが、自治員やコミセンの体育委員などにアンケートを実施した場合は、「大変だ」というような意見が多く出てくるように、アンケートの調査先によって出てくる意見は大きく違うと思います。普段からスポーツをしている人だけでなく、コミセンの体育委員も調査先として加えても良いと思います。

どうやって出雲市のスポーツを変えていくか、健康づくりを推進していくか、健康寿命を延ばしていくか、という視点に立つと、そこにメスを入れなければならないと思います。

（成相会長）

この問題は以前から顕在化しており、自治員や体育委員からは「運動会などの選手募集が大変だ」など色々な話が出てきていますので、そういった生の声が出てくると良いですね。

（久家委員）

スポーツ推進委員のアンケートに年齢を問う質問を追加していただければと思います。

10年後に島根県で開催予定の国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会についての質問がありますが、実際に開催される10年後には高齢となり引退してしまっているような委員も多いため、そのような人にとっては質問に答えようがありません。協力したいと思っても実際は体力的に難しかったりするので、性別・年齢を問う質問を追加していただきたいと思います。

（佐々木委員）

私は、スポーツ推進委員の中では若手の方です。その私でも10年後は70歳になります。若返りを図らなければならないと思っています。

（安喰副会長）

体育協会関係の調査先で「競技団体」とありますが、レクリエーション関係の団体は調査対象に入っているのでしょうか。

（事務局：今岡補佐）

出雲市体育協会に加盟している全43団体を「競技団体」としております。

(安喰副会長)

競技とレクリエーションでは目的が違うので、同じアンケート内容ではいけないと思います。ご検討ください。

(成相会長)

スポーツレクリエーションなら高齢者でもできるので、こんなスポーツもあるということが多くの人に伝わると良いですね。

(事務局：今岡補佐)

このアンケート案については、一旦持ち帰っていただきまして、12月18日(金)までのところで意見がございましたら、文化スポーツ課スポーツ振興係までご連絡いただきたいと思います。

また、調査先となる団体に対して、各団体の長と市長の連名でアンケート実施の依頼文を出したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

[意見等なし]

それでは、よろしく願いいたします。

(3) その他

(事務局：今岡補佐)

出雲市新体育館整備の進捗状況について説明します。

(事務局：矢田室長)

資料4に基づき説明

(事務局：今岡補佐)

続きまして、第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会の現在の状況について説明させていただきます。

[資料5に基づき説明]

続きまして、日本女子ソフトボール1部リーグの開催決定についてご説明します。

(事務局：矢田室長)

資料6に基づき説明

(事務局：今岡補佐)

事務局からは以上ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

(成相会長)

以前に出雲市体育館で練習されていた団体等が練習場所を失い困っておられる状況にあります。学校などの施設を利用しやすくなるよう考えていただきたいと思います。

(安喰副会長)

閉校している学校を利用することはできますか。

(事務局：三代次長)

すべての学校が共通ではないと思いますが、利活用を検討している学校もあります。

(山根委員)

平田町では、閉校した中学校の体育館を地域の方が使っています。

(三島委員)

地元との話し合いの中で、今後の使い道が決まります。統合の経緯もありますので、どうしても利用は地元の方が優先になります。

(安喰副会長)

体育館が使えない間だけでも、使えれば良いと思います。

(成相会長)

ぜひ検討していただき、少しでも空いている施設があれば利用できるように考えていただければと思います。

(事務局：今岡補佐)

他にございませんでしょうか。

それでは、最後に部長から挨拶です。

(事務局：藤原部長)

委員の皆様、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。

本日、メインの議題にありましたスポーツ推進計画につきましては、今後も課題がたくさんあるかと思えます。しっかり掘り下げようと思えますし、これまでの計画自体の検証もしていかなければならないと思っております。

さらに、10年後の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を見据えながら作っていかなければならないので、非常に大事なスポーツ推進計画になろうかと思えます。より良い計画にするためにも、今後も委員の皆様から色々なご意見をいただきたいと思っております。

また、冒頭に成相会長もおっしゃいましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で、日本全体そして出雲の町が沈んだような雰囲気があります。その一方で、徐々にではありますがスポーツ活動が再開されてきております。くにびきマラソンも形を変えて3月には実施したいと担当・関係団体共に一生懸命コロナ対策含めて頑張っております。成相会長のお話にあったように、スポーツを通じて活気を取り戻したいという思いは、ここにいらっしゃる皆さん同じだと思います。この計画によって、市民の皆様がスポーツを通じて心豊かな日々を送れるようにしていきたいと思えますし、今後もスポーツを通じた取り組みを続けていきたいと思っております。

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただき、また多くのご意見をいただき大変ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。